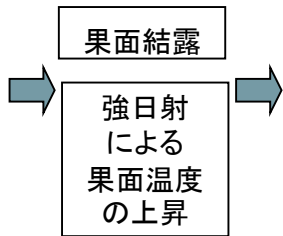


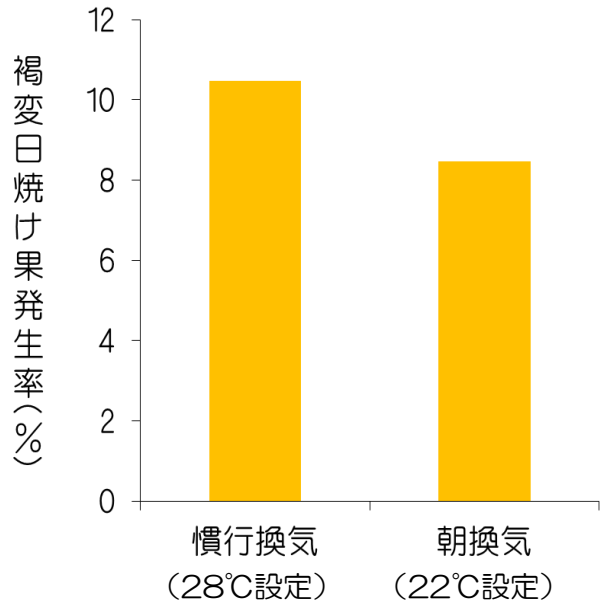
# 朝の換気でナスの結露を早めに乾かし 「日焼け果」を軽減



正常果



日焼け果  
(販売不可)



## 開発のねらい

品質日本一の岡山の促成栽培ナスですが、早春から初夏にかけて果実の表皮に陥没や褐変の被害が現れる「日焼け果」が発生しています。原因のひとつである朝の果面結露を換気によって取り除くことによる軽減技術を検討しました。

## 新技術の概要

- 日の出後、果面結露がほとんどなくなる10時までの間、換気扇設定温度を慣行の28℃から22℃に下げると、「日焼け果」発生率が低下し、販売できる収量が増加します。
- 換気扇の設定温度を22℃に下げても総収量は慣行換気と同等です。

## 活用場面

美味しいナスを安定生産することで、岡山ブランドのナスがますます食卓を賑わします。また、既存の設備を利用した方法で「日焼け果」が軽減され、農家経営も改善されます。